

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	一般社団法人九州のムラ					
役職	代表理事					
氏名	養父 信夫	ふりがな	ようふ のぶお	生年	1962年	
連絡先	住所	〒	811-3505	福岡県宗像市田島755-4		
	固定電話				携帯電話	090-4344-6432
	メールアドレス	youfu@9mura.net				

2. 経歴・取組内容、取組分野等


主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <p>1962年 福岡県宗像市生まれ 1986年 九州大学法学部卒業 同年 株式会社リクルート入社。人事部、情報通信部、アステル九州立ち上げなど 1997年 リクルート退社 同年 6月 九州観光研究所 設立 雑誌「九州のムラ」創刊。 2000年 株式会社マインドシェア九州に名称変更 2004年 株式会社マインドシェアに統合 九州のムラ市場 企画、Gazoo mura企画 など 2014年 一般社団法人九州のムラ 設立 現在に至る 2019年 一般社団法人ムらび九州 設立 (理事・副会長) 2019年 宗像鯨の会 代表 2022年～ 福岡ECO動物海洋専門学校 グリーンライフ学部 グリーンツーリズム学科 講師 2023年～ 福岡ECO動物海洋専門学校 グリーンライフ学部 グリーンアドバンチャー学科 講師</p> <p>総務省地域力創造マネージャー(2007年～) 内閣府 地域再生マネージャー(2009年～) 農林水産省 六次産業化ボランティアスタッフ(2009年～)</p> <p>宗像国際環境会議実行委員会 事務局長(2016年～)</p>	
	<p>取組内容・実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産省関わり合い創出事業にてのべ全国20カ所にて「ムラ暮らしインターン」実施。関係人口創出を行う。 福岡県添田町「ふるさと財団地域再生マネージャー事業」にて、観光地域づくり支援(令和4年度) 広島県府中市「ふるさと財団」地域再生マネージャー事業にて、観光地域づくり支援(令和3年度～現在に至る) 愛媛県内子町 「ふるさと財団」地域再生マネージャー事業にて、観光地域づくり造成を実施。(2018年～令和2年度) 和歌山県由良町 ふるさと財団 短期診断・地域再生マネージャー事業・総務省外部人材活用事業にて観光DMO支援 農林水産省 人材発掘事業にて全国11地域にて都市部の人材87名を地域に研修としてマッチング(令和3年度) 農林水産省 関わり合い創出事業にて全国8地域プログラムを都市部人材につなげる(令和4年度、令和5年度) 観光庁 看板事業(令和4年度)、観光再始動事業(令和5年度) 農林水産省 農泊推進事業にて長崎県長崎市茂木町、福岡県八女市旧立花町、熊本県人吉・球磨地域を支援。 観光庁 令和2年度時間市場(ナイトタイム)創出モデル事業 コンサルティング～宗像世界遺産を体感するスピリチュアルツアー～ 長崎県東彼杵町 グリーンツーリズム立ち上げ支援、インバウンド商品づくり(2015年～2017年) 同町 交流センター 立ち上げ支援(2018年) 広島県府中市上下町 観光・地域づくり支援(組織づくり、インバウンド対応)(2015年～2017年) 宗像市 地域おこし隊導入支援事業(2017年) 観光庁 地域資源を活用した観光地魅力創造事業(宗像市、薩摩川内市)(2017年) 環境省 地域循環共生圏創造事業(繋がるう、支えよう森川里海)(2016～2019年) 佐賀県 基山町 「観光担い手」育成、DMO立ち上げ事業(2016、2017年) 和歌山県由良町 地域再生マネージャー事業(2017年) 熊本県人吉市 日本遺産セントラルセンターマネジメント構築及びプログラム開発事業(2017年) 宗像国際環境会議実行委員会 事務局業務(2015年～) 熊本県山江村 移住定住支援事業、地域おこし協力隊導入支援(2016年) 神宿る島 宗像沖ノ島と関連遺産群 PR/パンフレット3部作 企画製作 (2016、2017年) Nippon /MURA 発刊(2015、2017年) など 	
取組分野(テーマ)	● 観光	観光庁観光再発見事業にて、福岡県宗像市にてビーチスポーツツーリズムコンテンツ創成を実施。(令和5年度事業) ふるさと財団 地域再生マネージャー事業にて広島県府中市にてモノづくり×観光振興を実施。(令和3年度～5年度事業)
	● 移住・定住・関係人口	農林水産省人材発掘事業(令和3年度)、農林水産省関わり合い創出事業(令和4、5年度)にて九州のムラ「ムラ暮らしインターン」を実施。
	● 農林水産業	農泊推進事業を活用し、委託会社として事業サポート
	起業支援	
	まちなか再生	(
	集落再生	
	環境	宗像国際環境会議(今年で11回目)事務局長として携わる。また高校生による女界灘沿岸部ビーチコーミング大会を主催(令和3年～)
その他	(

3. 関連ホームページ

名称	アドレス
一般社団法人九州のムラ	http://www.9mura.net
宗像鯨の会	https://munakata-ama.info/
宗像国際環境会議	https://www.munakata-eco.jp/

4. ふるさと財団での実績	
外部専門家 活用助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆2023年度 広島県府中市「持続可能な『産業(ものづくり)×文化×観光』ビジネス創出事業」 ◆2022年度 福岡県添田町「修験ツーリズム 英彦山観光地域づくり造成事業」 ◆2021年度～23年度 広島県府中市「持続可能な『産業(ものづくり)×文化×観光』ビジネス創出事業」 ◆2019年度～20年度 愛媛県内子町「極上の田舎力で魅せる！ 目的型ツーリズム事業」 ◆2017年度 和歌山県由良町 「想いがつながる観光地域づくり推進事業～優良・結良 由づくり、良いまちへ～」
外部専門家派遣 (短期診断)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2019年度 大分県宇佐市 ◆2018年度 愛媛県内子町 ◆2016年度 和歌山県由良町 ◆2012年度 大分県佐伯市
地域再生 セミナー	◆2021年度 徳島県
その他	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和5年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/e9ed7b07cd8f9dc3a4dc84539afae2c0f.pdf
令和4年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/fcafec08f7f03036099bdd59a19b07fd.pdf
令和3年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf
令和2年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R2houkokusyo.pdf
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chiikisaiseihoukoku.pdf
平成30年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chiikisaiseihoukoku.pdf
平成29年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chiikisaiseihoukoku.pdf
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikisaisei_houkokusyo.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiiki-houkokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域創生、地域活性のポイントは、第一に 人づくり、次に 具体的な施策、最後に出口づくりです。人づくりは、地元の “ハカもの、若者、ヨソもの、” から、自分たちは彼らの背中を押し、火をつけることくらいです。そのためには地域住民の誇り、歴史、文化を見つめ直し、それを “見える化” “” するところから。 具体的な施策は、小さな成功体験を積み上げること。まずは地域の資源を再度磨き上げ、地域の遺伝子をふまえた、地域のこれからの取組みを徹底的に議論し、その上で、交流であれ、食にしろ、フィールドを見て、具体的に組み立てていきます。トライ&エラーを繰り返して、組み上げていきます。最後は我々のネットワークも繋げ、観光、食の商品にお金を落としていただく都市部、海外の組織、個人につなげて、出口を構築していきます。九州のムラで培った約25年の経験、ネットワークを活かしてみませんか。</p> <p>ここ10年は、地元福岡県の宗像で、自ら地元組織も立ち上げ、観光環境地域づくりを実践しています。これからは持続可能な観光が世界スタンダードに。つまりインバウンドを視野に入れた場合には、この持続可能 というキーワードが必須となります。まずは短期診断からでも結構ですので、ふるさと財団さんと一緒に皆さんの地域にお伺いさせていただきます。</p>